

第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画
令和4年度進捗状況等について（報告）

令和5年8月

生涯学習部スポーツ振興課

1 はじめに

加須市では、地域全体でスポーツを通じた地域づくりに取り組む方向性を定めるものとして、平成24年3月に「加須市スポーツ推進計画」（計画期間：平成24年度から令和2年度）を策定し、5年が経過した平成29年10月には第1次計画の内容を見直し、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを“元気に行う”“楽しく学ぶ”“すすんで支える”」を基本理念として、スポーツの振興を図ってまいりました。

これまでの取り組みの成果と課題、本市を取り巻く社会経済状況の変化、国・県の動向などを踏まえるとともに、心身の健全な発達、明るく豊かな生活の形成、活力あるまちの実現に向け、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画（計画期間：令和3年度から令和7年度）を策定しました。

この報告書は、計画全体の進行管理を行い、今後の取り組みに生かすため、毎年計画に基づく事業の進捗状況の把握を行うものです。

2 進捗状況の把握期間

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）に実施した各施策・事業を施策体系別に把握したものです。

3 評価結果の概要

数値目標 24 件の達成率について、13 件が「目標を達成」「概ね達成」と目標を達成し、54.2%が目標を達成しました。

取組内容 71 件の達成率について、52 件が「目標を達成」「概ね達成」と目標を達成し、73.2%が目標を達成しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかの事業が中止となるほか、規模の縮小により事業を行ったため、目標達成の評価率に影響のある事業が複数ありました。

4 達成度評価基準

評価	達成率	
	指標設定がある場合	指標設定がない場合
1 目標を達成	100%以上	—
2 概ね達成	80%以上100%未満	実施すべき取組を円滑に行えた
3 やや遅れている	50%以上80%未満	実施すべき取組にいくつか遅れがある
4 大幅に遅れている	50%未満	事業が滞ってしまっている

5 令和4年度 数値目標達成状況

基本目標 (施策)	達成度評価 (件)				1目標を達成 +2概ね達成	
	1目標を 達成	2概ね達 成	3やや遅 れている	4大幅に遅 れている	件数	達成率
1 スポーツを楽しむ元気な市民～ スポーツ参画人口の拡大～ (1 ライフステージに応じたスポーツ の推進) (2 だれもが楽しめるスポーツの推進) (3 スポーツ人材の充実) (4 スポーツに親しめる場の充実)	4	4	3	4	8	53.3%
2 スポーツで元気な加須市～ス ポーツを核とした交流人口の拡大～ (1 女子野球の推進) (2 スポーツクライミングの推進) (3 自転車の推進) (4 全国大会等の支援)	4	1	2	2	5	55.5%
合 計	8	5	5	6	13	54.2%
割 合	33.3%	20.8%	20.8%	25.0%	—	—

6 令和4年度 取組内容達成状況

基本目標 (施策)	達成度評価 (件)				1目標を達成 +2概ね達成	
	1目標を 達成	2概ね達 成	3やや遅 れている	4大幅に遅 れている	件数	達成率
1 スポーツを楽しむ元気な市 民～スポーツ参画人口の拡大～ (1 ライフステージに応じたスポーツ の推進)	5	9	3	3	14	70.0%
(2 だれもが楽しめるスポーツの推進)	2	0	2	2	2	33.3%
(3 スポーツ人材の充実)	1	8	0	2	9	81.8%
(4 スポーツに親しめる場の充実)	5	12	0	2	17	89.5%
2 スポーツで元気な加須市～ス ポーツを核とした交流人口 の拡大～ (1 女子野球の推進)	2	1	0	0	3	100%
(2 スポーツクライミングの推進)	1	0	0	2	1	33.3%
(3 自転車の推進)	2	1	1	0	3	75.0%
(4 全国大会等の支援)	1	2	1	1	3	60.0%
合 計	19	33	7	12	52	73.2%
割 合	26.8%	46.5%	9.9%	16.9%	—	—

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%とはならない。

■計画全体の成果

計画全体の成果基準

成果		成果評価基準
A	非常に成果があった	全ての数値目標が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合。 「大いに成果が得られたとみなせる」とは、設定したすべての数値目標の実績値が目標値を100%以上達したものをいう。
B	相当程度成果があった	一部の数値目標が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合。 「概ね成果が得られたとみなせる場合」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の80%以上達したものをいう。
C	成果があった	数値目標の達成状況は芳しくなかったものの、取組として前進したとみなせる場合。 「数値目標の達成状況は芳しくなかった」とは、数値目標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
D	成果がなかった	数値目標と実績値に大幅な乖離があり、取組として前進したとは言い難い場合。 「数値目標と実績値に大幅な乖離がある」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。

数値目標の成果

達成度評価	事業数	割合
1 目標を達成	8 事業	33.3%
2 概ね達成	5 事業	20.8%
合計	24 事業	54.2%



C 成果があった

取組内容の成果

達成度評価	事業数	割合
1 目標を達成	19 事業	26.8%
2 概ね達成	33 事業	46.5%
合計	71 事業	73.2%



C 成果があった

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の中止や開催規模の縮小により、「参加者数」「観客数」などが減少し、関連する事業の実績値にもマイナスの影響を及ぼした。しかしながら、各種教室などを可能な限り開催し、スポーツの普及推進を図ることができた。

数値目標においては「1 目標を達成」、「2 概ね達成」した事業が全24事業のうち13事業（54.2%）あり、取組内容においては「1 目標を達成」、「2 概ね達成」した事業が全71事業のうち52事業（73.2%）となったことから計画全体の成果を「C 成果があった」とした。